

朝川万里 CD発売記念 リサイタル

The Flow of Music

2018.1.26 Friday

18:30- 開場 / 19:00- プレトーク

杉並公会堂小ホール

プレトーク「カーター研究家・作曲家のジョン・リンク氏を迎えて」



MARI ASAKAWA
**The Flow
of Music**
Piano Works of
CARTER & BABBITT

Produced by Joseph Patrych and Mari Asakawa
Edited and Mastered by Joseph Patrych
Cover Design: Risa Nikiyado
Centauro CRC 3646
Recorded at Patrych Sound Studios
Photo: Yoshitiko Takamura

Elliott CARTER エリオット・カーター (1908-2012)

Two Diversions / 2つのダイヴァージョン (1999)

90+ (1994)

Matribute / マトリビュート (2008)

Two Thoughts About the Piano / ピアノについての2つの視点 (2005-2006)

Night Fantasies / ナイトファンタジー (1980)

Milton BABBITT ミルトン・バビット (1916-2011)

Post-Partitions / ポスト・パーティション (1966)

Overtime / オーバータイム (1987)

John LINK ジョン・リンク (1962-)

Silex Variations / シレックス・ヴァリエーション (2006)

チケット(自由席): 一般4,000円 学生2,000円

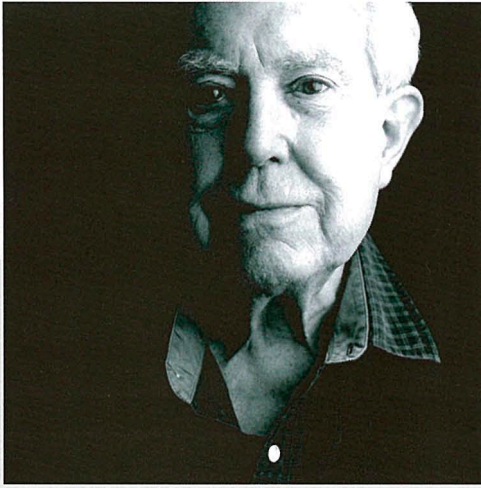
取り扱い: カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560 <http://www.camerata.co.jp>
e+ (イープラス) <http://eplus.jp>

CDお問い合わせ: 東京エムプラス 03-5976-5991

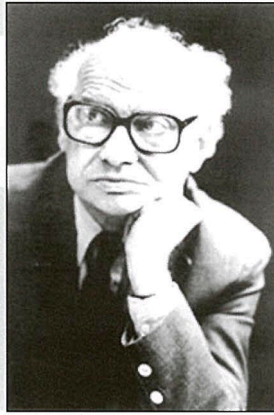
主催: ピアノソノリティ 助成: **NOMURA** 野村財団

※ やむを得ない事情で曲目が変更になる場合がございます。あらかじめお承知おきください。

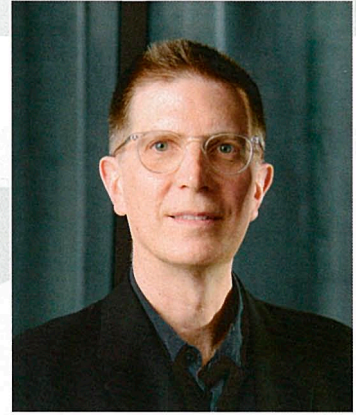
※ 未就学児の入場はご遠慮ください。



Elliott Carter (1908-2012)



Milton Babbitt (1916-2011)



John Link (1962-)

このCDのタイトル”The Flow of Music”とはカーターがインタビューの中、または著書の中で度々用いている表現です。カーターにとって音楽とは最初に、時の中の流れでありました。複雑な要素や困難な技術は、息の長い感情豊かなフレーズの流れを作り出すためのツールであり、カーターはこのフレーズの流れを、長い文章の中である言葉がもう一つの言葉に続き、2つ目の言葉は最初の言葉を展開または制限し、3つ目の言葉はそれまでの言葉に新しい光を与えるといった形態に例えています。私は演奏家としてこの流れの着想に魅了されたと同時に、それは彼の音楽の本質を理解する鍵となりました。

このことがCDを聴いてくださる方々にとってカーター音楽を理解する手ほどきへと繋がることを願っています。今日のプログラムでは、収録した中からカーターの中期的大作と、後期90歳以降に書かれた珠玉の小品の数々を中心に、カーターとは同士であり、友であり、またときには良きライヴアルであったミルトン・バビットの小品2曲と、カーター音楽の研究家であり作曲家ジョン・リンクの作品を取り上げています。カーターと所縁の深かったこの二人の作曲家たちと共に、カーター作品の魂を讃える一晚となることを願っています。 (朝川万里)



朝川万里 Mari Asakawa

20世紀、21世紀の音楽を専門に、日、米、欧で活躍するピアニスト。ジュリアード音楽院、エール大学大学院卒業。2004年にはプロコフィエフ没後50年を記念してイタリアPhoenix Classics社 からプロコフィエフ:ピアノ・ソナタ「戦争ソナタ6、7、8番」のCDをリリースし、「奥に秘められた作品の豊かさを浮き彫りにしていく成熟度の高い演奏」「近年はやりの怒り肩のプロコフィエフとは一線を画している」と高く評価された。

その後、イタリア、日本、イギリスを含む計10カ所でのプロコフィエフ:ピアノソナタリサイタルや、イタリア、フランス、スイス、日本にて「ピアノが奏でる20世紀の音」と題するリサイタルを開催。

2012年2月には、アメリカ・ニューヨークのカーネギーホール・ワイルリサイタルホールとニューヨーク州立大学で、アメリカを代表する作曲家エリオット・カーターのピアノ作品のリサイタルを開催し、その場に会場した103歳のカーター氏の賞賛を得る。同年12月に東京・杉並公会堂にて開催されたエリオット・カーター追悼演奏会・ピアノリサイタルがNHKFM「現代の音楽」にて放送される。2016年に再度渡米しベイツ大学及びカーネギーホール・ワイルリサイタルホールでリサイタルを開催した。長年に渡りカーター音楽を日、米、欧で演奏を続けてきた功績が認められ、2017年にはカーター氏が存命中に設立したAmphion 財団より助成を得て、日本人アーティストとして初めてのカーター録音を行った。現在、愛知県立芸術大学、放送大学で非常勤講師を務める。

<http://mariasakawa.com/>

Suginami Koukaidou
杉並公会堂
〒167-0043
東京都杉並区上荻1-23-15
TEL:03-3220-0401

